

## フランネルフラワーの管理 Q&A

Q1 どのような場所に置くのがよいか、基本的な鑑賞場所を教えてください。

Q2 鉢替えや寄せ植えするときに注意することはありますか。

Q3 水や肥料はどのように与えたらよいですか。

Q4 冬場の管理方法について教えてください。

Q5 花がらの摘み方を教えてください。

Q6 萎れた場合、どうしたらよいですか。

Q7 萎れる前の初期症状と対処方法を教えてください。

Q8 下葉が茶色くなりました。どうしたらよいですか。

Q9 フランネルフラワーの品種の特徴を教えてください。

Q1 どのような場所に置くのがよいか、基本的な鑑賞場所を教えてください。

A1 直射日光の当たる場所に置いて下さい。雨に当たっても大丈夫ですが、当たらない所（軒下など）の方が適しています。

室内に置くときは、日のあたる窓辺に置きましょう。日光が当たらないと間延びしてしまい、花が着かなくなります。低温にも高温にも強い花ですが、霜には当てないよう注意してください。

Q2 鉢替えや寄せ植えするときに注意することはありますか。

A2 根を傷めると枯れやすいので、鉢を外したら根をほぐしたり、土をふるい落とししたりしないように植え替えてください（写真1）。土は、酸性土壌を好むので、市販のサツキやブルーベリーの土が適しています。また、寄せ植えする場合、市販の園芸用培土を使用しても問題はありません。



Q3 水や肥料はどのように与えたらよいですか。

A3 湿りすぎには弱い花です。水は土の表面が乾き、鉢を持ち上げて軽いつ感じたら与えてください。

肥料を好む花なので、液肥であれば商品に表示されている標準的な濃度（量）を1～2週間隔で与えてください（ハイポネックスならば1,000倍程度。1ccを1リットルに希釈）。

固形肥料は緩効性肥料が適しています（肥料成分の溶出が緩やかで、一般にロング肥料と呼ばれている肥料）。化成肥料（肥料成分の溶出が比較的早く速効性の肥料）を与える場合は、2か月に1回の間隔で与えます。化成肥料は鉢の隅に埋め込んでください。

Q4 冬場の管理方法について教えてください。

A4 冬は日のあたる窓辺に置きましょう。冬でも15℃以上の温度があれば咲き続けます。霜に当てないようにしましょう。水やりは、土の表面が乾き、鉢を持ち上げて軽いつ感じたら、土の表面が湿る程度に与えてください。

Q5 花がらの摘み方を教えてください。

A5 花が閉じたら2番目の花の付け根の上から切り取ってください(写真2)。また、花が一段落したら、わき芽の上まで切戻してください(写真3)。

フランネルフラワーは咲いたすぐは、花の中心が緑色です(写真4)。古くなると、花の中心が茶色になってきます(写真5)。花が終わりに近づくと、花が閉じます(写真6)。そのまま、放置すると種ができ、花びらが散ります(写真7)。



Q6 萎れた場合の対処方法を教えてください。

A6 水切れによる萎れの場合は、土全体が湿るように、たっぷりと与え、株が回復するまで水やりを控えてください。乾きすぎて土が水を吸わない場合は、水を溜めたバケツ等に鉢の半分程度を浸け、土が湿ったらバケツから出して株が回復するまで水やりを控えてください。

土が湿っているのに萎れた場合は、根腐れの可能性が高く、根っこから給水できない状態と考えられます。回復は難しいですが、花をすべて摘み取り、水やりを控える等、株への負担を減らすことで回復する場合があります。

Q7 根腐れの初期症状と対処方法を教えてください。

A7 下部の葉の葉脈が黄色くなる(写真8)、花が垂れる(写真9)、葉が垂れる(写真10の左)、この症状が出たら、土の表面が乾くまで、水やりを控えてください。根にも空気は必要です。



Q8 下葉が茶色くなりました。どうしたらよいですか。

A8 フランネルフラワーは古くなった下葉が茶色くなる特性があります。見苦しい場合は、葉の付け根から取除いて下さい。フランネルフラワーは多年生植物で、うまく育てれば2～3年楽しめます。なお、年とともに株の形は乱れてきます。

株が成長すると茎は木化し、下葉もかれて、上部だけ葉が茂るようになります。一度に切り戻すと株が弱るので、枝ごとに時期をずらして切り戻し、下から新しい芽を伸ばすようにすると、株が若返ります。

Q9 フランネルフラワーの品種の特徴を教えてください。

A9 フランネルフラワーは、オーストラリア原産のセリ科の植物です。草丈は30-40cm程度で、品種は4品種あります。

「フェアリーホワイト」：花が大きく、四季咲き性で年中咲きますが、春から初夏が見頃です。出荷時期は春から秋春～秋です。

「ファンシースノー」：開花は春一季咲きで、花茎が長く、軸が硬い品種です。出荷時期は春です。

「エンジェルスター」：早生品種で、軸が硬く、花着き、開花揃いが良い品種です。出荷時期は秋から春です。

「フェアリームーン」：初の有色品種です。花の色はクリーム色で春が見頃です。草姿は「フェアリーホワイト」とほぼ同じです。出荷時期は春です。



「フェアリーホワイト」



「ファンシースノー」



「エンジェルスター」



「フェアリームーン」